

「日本の森のアロマ」「yuica」を展開する私たち正プラスでは、アロマ製品の製造・販売以外に、アロマ講座のスクーリング事業も行っています。今回はほんの一部ですが、その内容についてお伝えいたします。

### 学びと気づきを

講座の名称は「日本産精油総合講座」とやや硬めです。総合という言葉は冠しているのは私たちのこだわりの一つで、精油（アロマ）はまず使い方・楽しみ方を知ることが第一目となりますが、日常的に暮らしに取り入れながら得ることのできる効果はもちろん、素材である樹木それぞれの生態・特性・成分についても学ぶほか、yuicaの製造によって自然環境に貢献する森林保全と森林循環との繋がりを多角的に理解できるようにし、受講される方々には幅広い知識ばかりでなく、数多くの気づきも得てもらえるような構成にしています。

講座の種類は、異なるカリキュラムで構成された「アドバイザー講座」「インタープリター講座」「スペシャリスト講座」という3つで区分しており、「アドバイザー講座」及び「インタープリター講座」については、正プラスが公認した全国各地のアロマスクールが開講し運営しています。一方、飛騨高山の本拠地で実施しているのが「スペシャリスト講座」です。アロマの勉強を始める方の中には、瓶の中の精油とその香りを把握することはあっても、素材である樹木や植物が育つ環境や生態までは知らない、という方もいらっしゃいます。日本の森

のアロマ「yuica」はその名の通り日本の森で育つヒノキ、スギ、アスナロ、クロモジを原材料としており、それらの樹木は飛騨高山の森林資源を中心に活用していますので、講座の実地研修ではまず実際の森に入り、素材としている樹木を探し見つけ、それが生長する環境を知り、幹や枝や葉に手で触れて、立木の状態から香りを体感します。時には枝葉を口に入れて味わってみるなども行い、五感をフルに活用した学びを通じ、木の生態を心身とも感じます。

### 精油の原材料調達から蒸留まで

また受講される方々には、森に入るだけではなく、クロモジやニオイコブシなど精油の原材料となる樹木から、枝葉を自身の手で採集いただいています。その際、採取する木々だけでなく、周辺の環境の生態系を崩壊させない適切な採集方法を学ぶことも重要です。こうして自分自身の手で採集した枝葉を、精油を蒸留するために

粉碎機にかけ、細かくなったチップを蒸留機にセッティングしていきます。



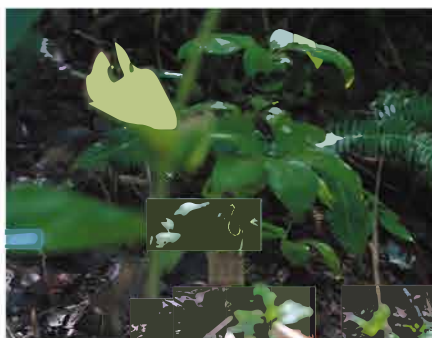
クロモジ、ニオイコブシを探して

苦労して採集したクロモジから抽出された精油の、最初の一滴滴。講座を行うたび歓声が起こる、受講される方々にとって忘れられない感動の一瞬です。

### 次世代のための植樹

最近開催した講座では、カリキュラムの最後に「クロモジ苗木の植樹」を加えました。自分でクロモジを採集したら、次世代のためにクロモジを植える。そして、数

年後にはこれらのクロモジから再び精油を抽出する。遠くない将来、そのような人と森の持続的な共生の循環を学ぶことも夢に描いています。今回は講座について紹介いたしましたが、次回からはこれらの講座の研修を経て、全国各地で活躍されているスペシャリストの皆さんの活躍ぶりをご紹介させていただきます。



クロモジの苗木

## 講座から人と森の持続的な共生を目指して



森の中で五感をフル活用